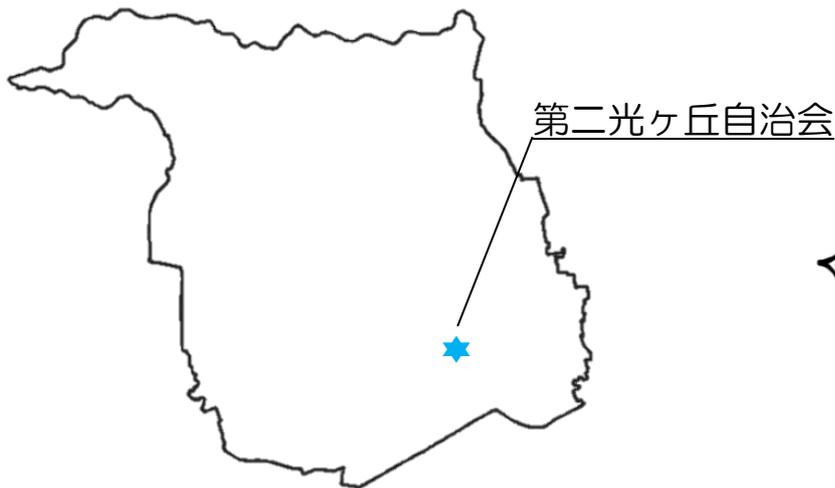




自治会活動レポート 🍁

No.27 第二光ヶ丘自治会 「ハロウィン子ども会」

地域の底力発展事業助成 令和6年10月27日実施



第二光ヶ丘自治会は、向原2～3丁目付近にあり、約114世帯で構成されています。お祭りをはじめ住民向けのイベント企画運営、防犯・防災活動など、地域住民に密着した様々な活動を行っています。

今回は、地域の子どもたちが中心となって企画をした「ハロウィン子ども会」の様子をお届けします。

主役は子どもたち

第二光ヶ丘自治会では、自治会員と地域の人たちとの交流を図るため、自治会独自の催しを開催しており、今年は昨年特に子どもたちの参加が多かったハロウィンイベントを開催する事にしました。

イベントの開催にあたっては、東京都の「地域の底力発展事業助成」を活用し、企画から開催まで、地域の子どもたちの意見を取り入れ作り上げました。



普段はできない社会経験を



昨年、初の試みとしてハロウィンイベントを実施した際は、参加者集めに苦労したそうですが、今年はイベントのリピーターも多く、定員を上回る応募がありました。

今年は、昔の子ども会のようなイメージで準備から子どもが携わる事で、自身の楽しみも増え、やりたい事が形になる充実感はとても大きな経験になると思いました。また、学年や学区も越えて子ども委員として準備に参加するなど地域ならではの関わりや経験ができたのではないかと思います。

駄菓子の問屋さんに買い付けに行ったり、ゲームコーナーでは、工夫して来場者に遊び方を伝えるなど、学校とは違った子どもたちの活躍を見ることができました。

町内をパレードして、お菓子をもらう企画では、普段子どもと接する機会の少ない世代にも協力いただき、多世代交流と子どもたちの活力を体感する機会となりました。

パレードは子どもたちの賑やかな声と活気あふれるイベントとなり大好評でした。

子どもたちから繋がる地域



第二光ヶ丘自治会から他の自治会、市民の皆さんへメッセージ

今回の催しの賑やかさに興味を持って当日来場していた方からは、「子ども向けの催しが盛んな自治会があれば入りたい」、「地域の「子ども会」があった事が記憶にあり同じ経験を子どもにもさせてあげたい」というお声もいただき、地域交流の機会を持つことで自治会活動の周知や理解につながり、自治会入会のきっかけになる実感を持ってました。

地域交流を求める方に自治会活動を知ってもらう事は、顔の見える地域としての安心感につながります。今、大人たちが地域交流のビジョンを作ることが、子どもたちが大人になった時に地域活動へ参加するきっかけになります。

楽しい思いができる地域活動経験を誰もがすることで、自治会の役割や価値も再認識できると思います。参加してみると分かる充実感がありますので、是非、自治会活動に足を運んでみて下さい。

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所 地域振興課 市民協働・消費係までお問合せください。

電話：042-563-2111（内線1715） FAX：042-563-5931

